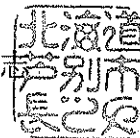


19都土 第 27号  
平成19年 4月27日

国土交通省道路局長 様

芦別市長 林 政



## 道路整備の中期的な計画の策定に関する意見書

道路は、日常生活から経済活動に至るすべての社会生活活動を身近に支える、最も基礎的かつ重要な社会資本であり、少子・高齢化が急速に進展して行く芦別市において、豊かな地域社会の実現のためには、その整備充実が欠かせないものとなっております。

とりわけ、広大な市域面積を有する本市にとりましては、整備が遅れている高規格幹線道路へのアクセス道路の早期整備や緊急防災避難経路としての道路整備を必要としているほか、冬期間の生活道路の確保が重要な課題となっているところであります。

このため、下記の事項について意見を申し上げます。

### 記

#### ・重点化を進める上で特に優先度の高い施策

##### 【地方と都市部の交流を促進する高規格幹線道路網の早期整備】

北海道の経済圏は、札幌を中心とした経済圏と札幌以外の経済圏の二極化が進み、地方都市にとっては人的交流や物流を促す上で高規格幹線道路ネットワークの形成が必要不可欠であることから、地方都市へのアクセスの道路の改善を一層推進すること。

##### 【一般国道452号の未開通区間の早期解消】

一般国道452号は、道央圏空知と旭川圏の旭川空港を結ぶ臨空産業観光の基幹国道として、空港に近接する工業団地への企業誘致や、産業・経済の物流及び地域間交流を促すとともに、北海道広域観光ルートとして大きな経済効果が期待される重要な路線である。

また、防災対策の面で、道央と道北を結ぶ、避難経路、物流経路、救急搬送経路としても早急に整備を必要とする重要な路線であることから、未開通区間の早期解消を図るため、財源の確保と適正な予算の執行に務めること。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

**【公共土木施設の延命化の推進】**

本市は、市街地を空知川が縦断する形で流れているため、昭和30年代から40年代に架けられた橋が多く、耐用年数と共に橋自体の老朽化も進んでおり、維持補修工事費の財源確保に苦慮している。

このことから橋梁の延命化を図るために必要な調査、工事費の補助金確保と維持管理費に要する補助制度の確立を図るため、一般財源化することなく道路特定財源を確保すること。

**【財源の効率化】**

積雪寒冷地域の道路幅員について、交通需要量に見合った幅員構成にすることにより建設費のコストダウンが図られ、工期の短縮等が期待できる。

・その他

**【高齢者でも安心して暮らせる地域社会の構築】**

高齢化が進んでいる本市に取って、安心・安全なまちづくりに向けた生活道路網の整備が遅れている現状にあり、特に高齢者や幼児が安心して歩行できる歩道の段差解消が急務となっていることから、この整備に必要な目的に沿った財源制度の確立を図ること。

**【除雪体制の維持】**

積雪寒冷特別地域における交通を確保するため、除雪機械の整備について現在の除雪水準を維持するため「積雪寒冷特別地域における道路交通の確保に関する特別措置法」の事業期間のさらなる延長を図ること。

以上、意見書として提出をいたします。